



令和4年度（2022年度）釧路管内教育実践表彰について

本校が長年にわたり、肢体不自由の特別支援学校としてセンター的機能を果たしてきたことが評価され、本年度の管内教育実践表彰を受けることになりました。

先日、相川 芳久 釧路教育局長が来校され、本校へ表彰状が授与されました。

本校が開校以来、白糠学園の肢体不自由の障がいのある児童生徒をはじめ、地域の学校に通う特別支援教育が必要な児童生徒の支援を主に特別支援教育パートナーティーチャー派遣事業や教育相談を行い、対象の児童生徒の社会的な自立の一助となるように尽力してきたこと、また特別支援学級の担当者や特別支援教育コーディネーターの学習会等を定期的実施し、参加する教職員の資質・能力の向上を図ってきたこと、さらにコロナ禍においては、いち早くICTを活用した学習に取り組み、オンラインによる全国ボッチャ選抜甲子園や遠隔社会見学に取り組み、生徒の知見を広げたり、セルフエスティームを向上させることで、豊かな人間性や社会で生きる力を身につけさせるきっかけを作ってきたこと、それに加えて、危機管理体制の強化にも力を入れ、津波対策では、校地外にある避難場所に避難する訓練においても教職員の自家用車に児童生徒を乗せ、有事を想定した訓練を実施し、子どもたちの命を守ることに最善の努力を重ねてきたことなど、様々な取り組みを評価いただいたことに、深く感謝いたします。

本校が同表彰を受けるのは、平成6年度以来のことです。

